

新型コロナウイルス感染症 の出口戦略 ——ワクチン接種を中心に——

東京都医師会 副会長
角田 徹

横浜市立大研究

中和抗体ができた人の割合

1回接種後 2回接種後

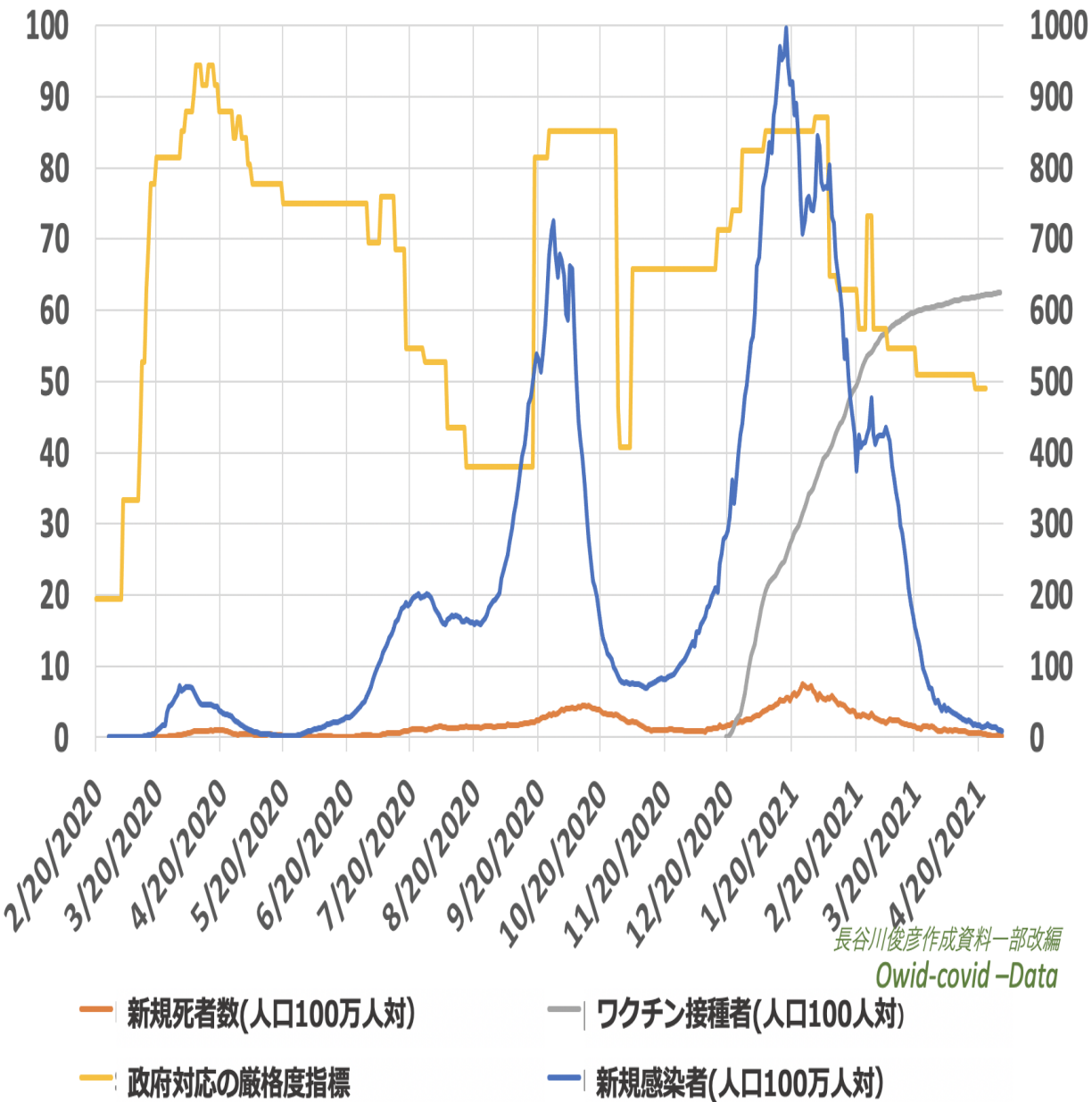
従来株	57%	99%
英国株	18%	94%
インド株	37%	97%
南アフリカ株	21%	90%
ブラジル株	16%	94%

アナフィラキシーの頻度

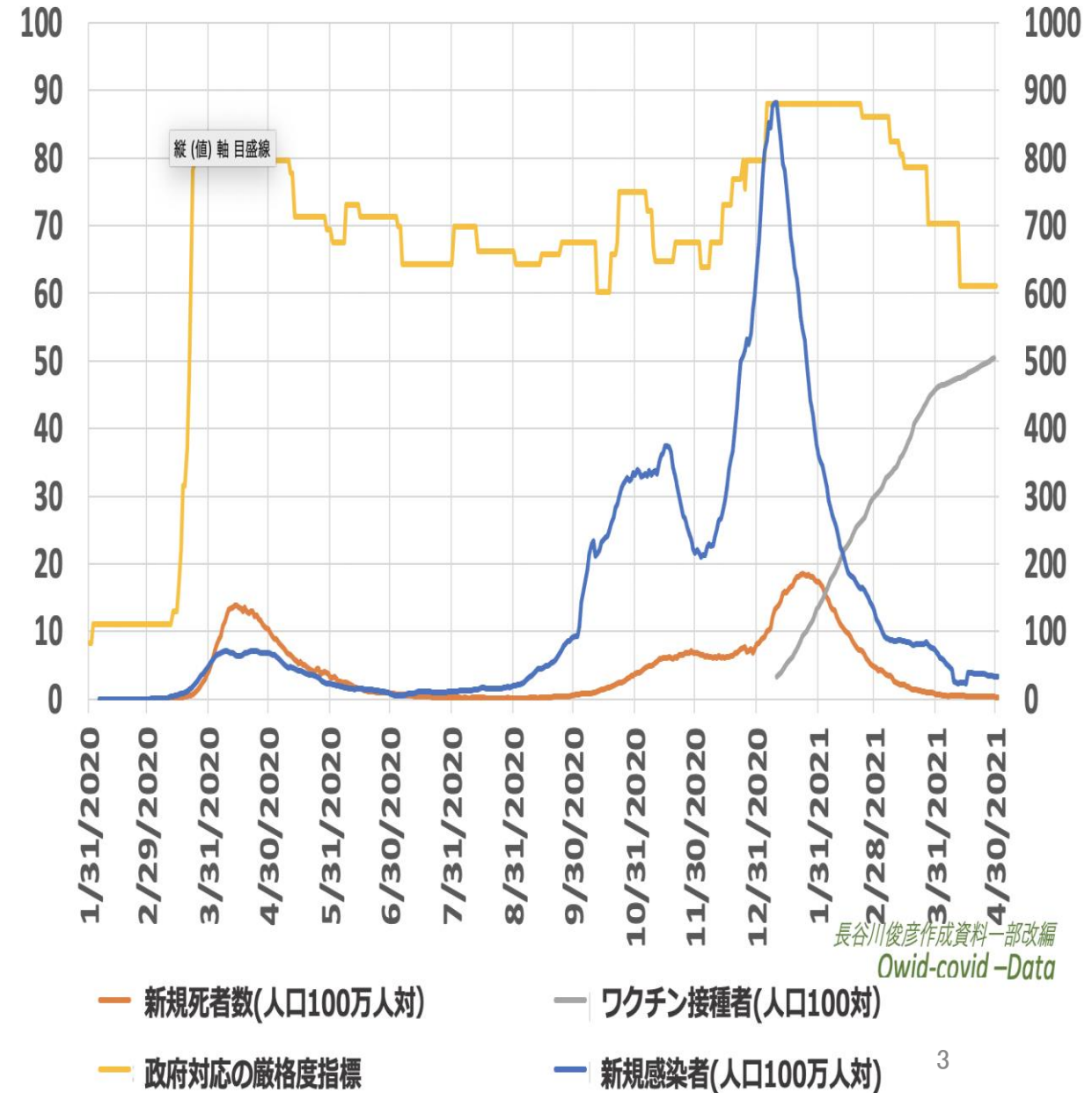
薬剤		100万患者当たりの発生率
抗菌薬	ペニシリン系	4,590
	スルホンアミド系	1,510
	セファロスポリン系	610
	マクロライド系	380
	キノロン系	370
NSAIDs		1,300
オピオイド		980
インフルエンザワクチン		1.41
ファイザー		5.0
モデルナ		2.8

3/26 医療従事者等接種にて47件(約58万回接種) **100万回あたり81件** 女性(44/47=94%)に多く、PEG(化粧品に含有)への反応が示唆化粧品かぶれの既往に注意

イスラエル

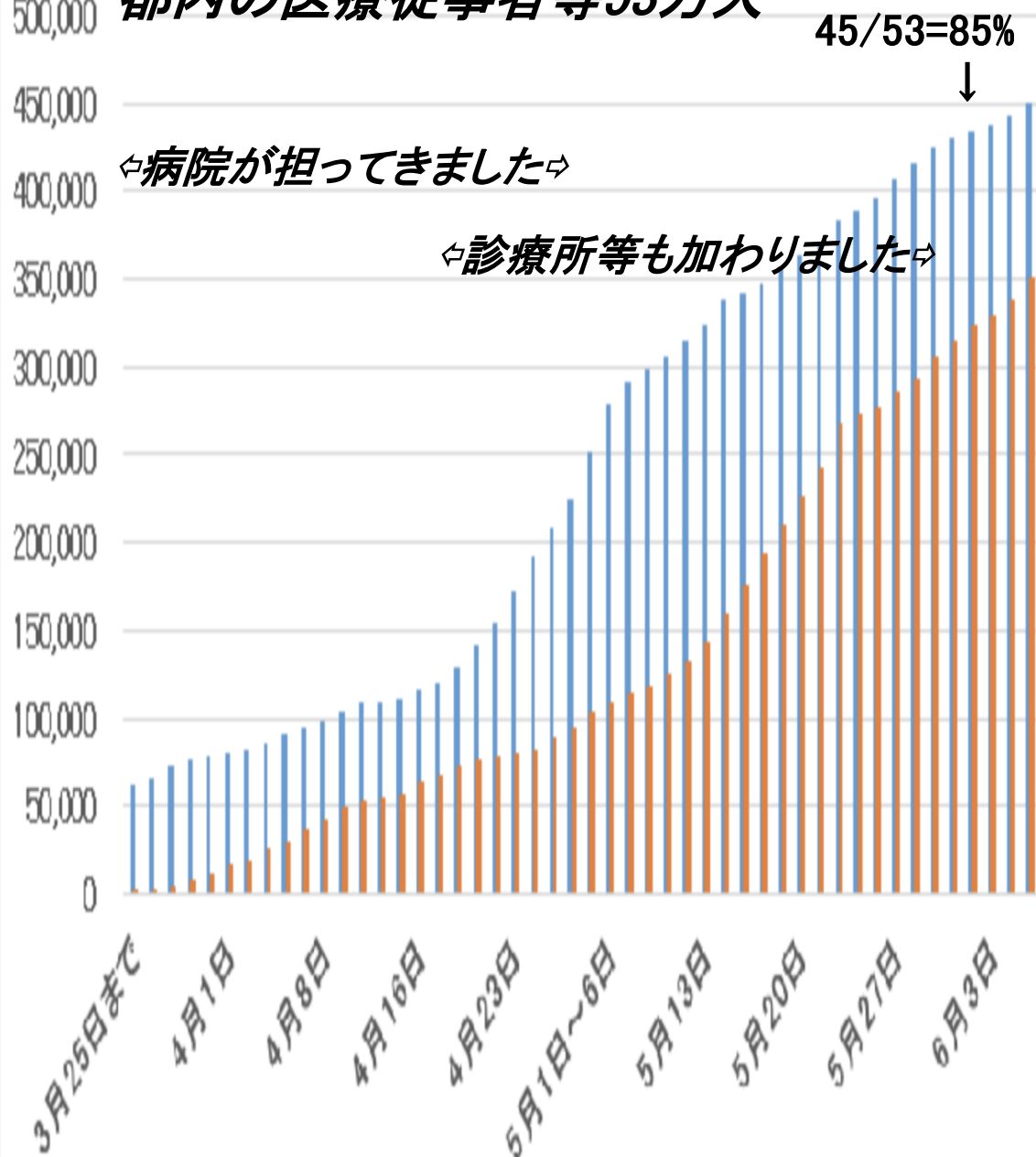


英国



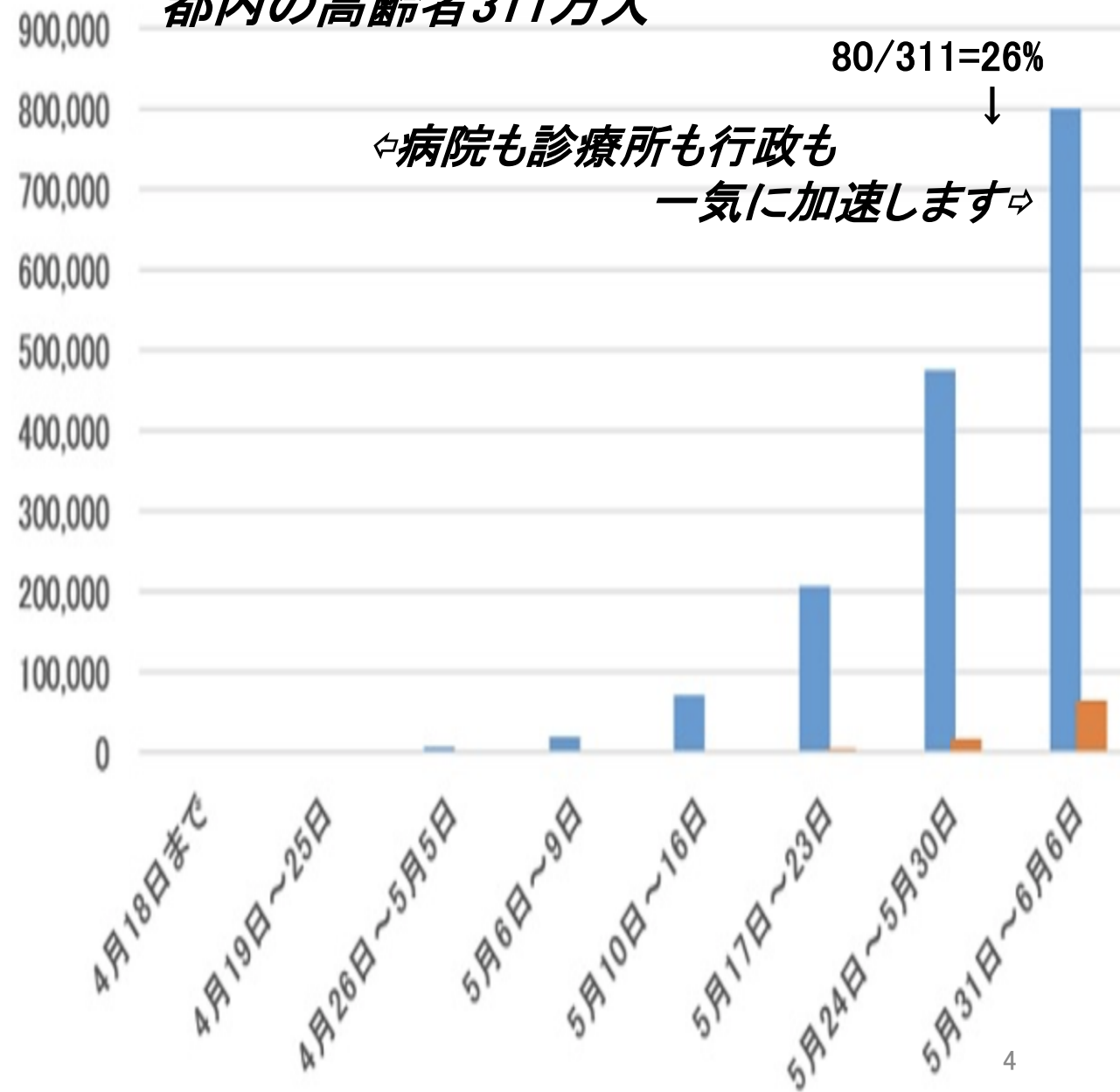
■接種1回目 ■接種2回目

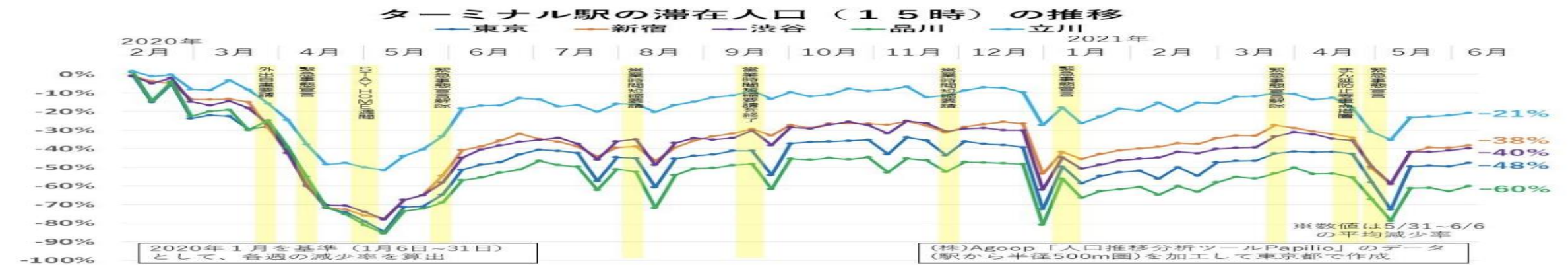
都内の医療従事者等53万人



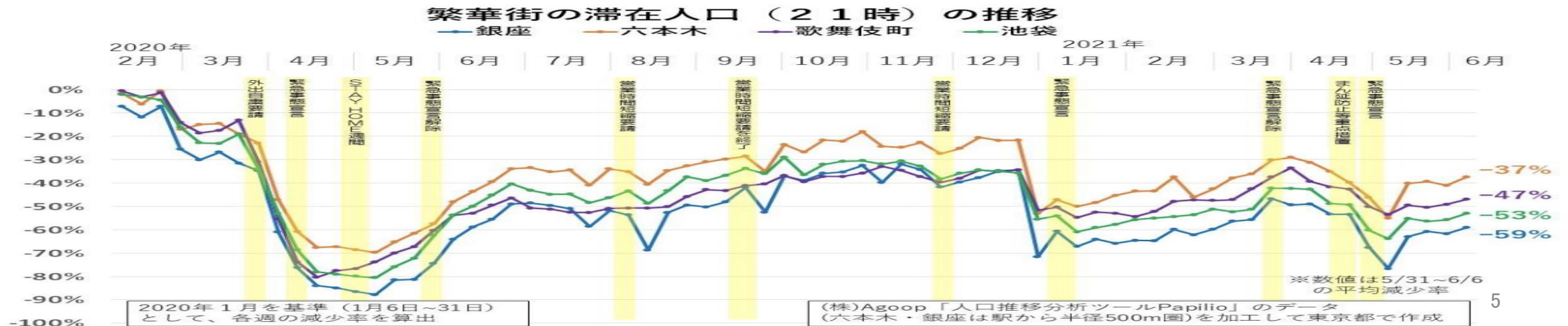
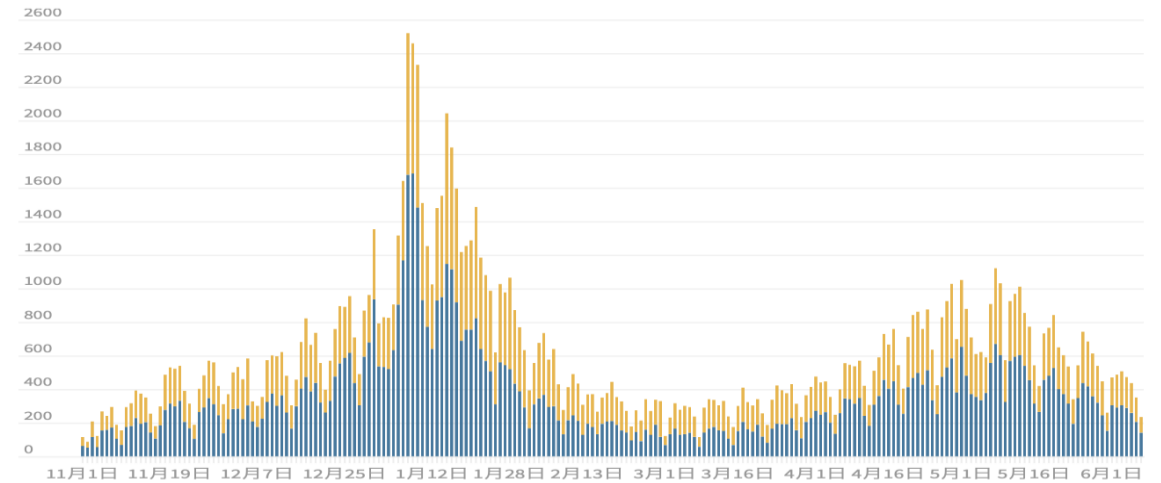
■接種1回目 ■接種2回目

都内の高齢者311万人





東京の人流と新規感染者数
 人流は増えているが新規感染者は増加していない(減少傾向)



ワクチンを接種出来ない人を集団で守る

従来型R0:2.0とし、英国型が感染力1.5倍、インド型が更に1.5倍として

$$2.0 \times 1.5 \times 1.5 = 4.5 \quad \text{集団免疫率} : (1 - 1/4.5) \times 100 = 78\%$$

感染者1人が感染している間に何人にうつすか **NHK**
= ウイルスの感染力の指数



$$\text{集団免疫率(\%)} = (1 - 1/R_0) \times 100$$

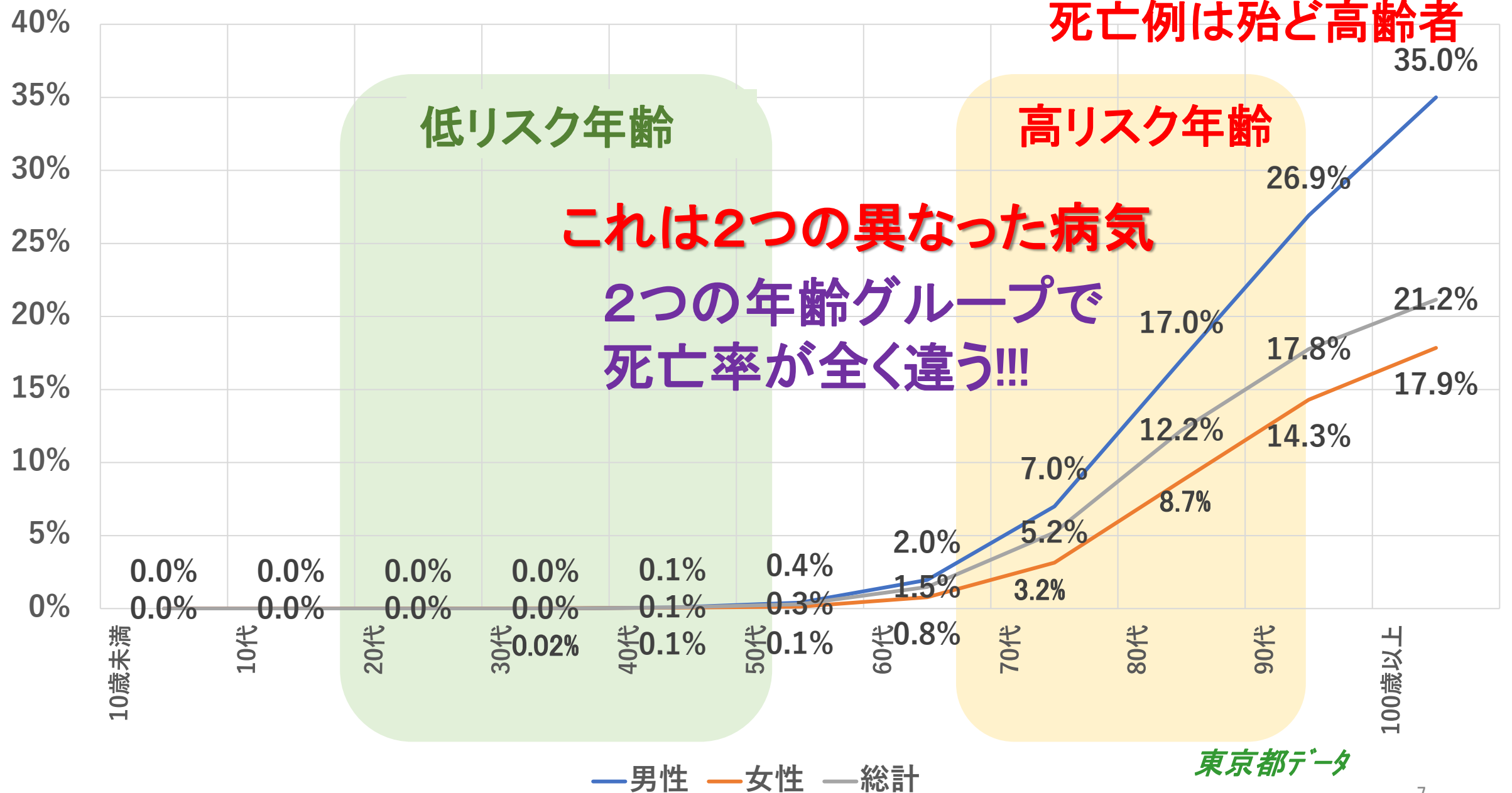
麻疹 ($R_0=12-18$)

集団免疫率 = 91.7~94.5%

新型コロナウイルス感染症 ($R_0=2.24-3.58$)

集団免疫率 = 55.4~72.1%%

性年齢別陽性者死亡率



高齢者の方へ

- ワクチンは極めて有益です。7月末を目途にできるだけ多くの高齢者の方々に、ワクチン接種を受けていただきたいと思います
- 高齢者だけで集う時、そのグループのワクチン接種率が80%を超えていれば、その集団ではCOVID-19蔓延の可能性はとても低いです
- これは、ワクチンを受けられない(受けることができない)方を守ることになります
- 接種率80%を目指しています
- ワクチンは、変異型にもしっかりと有効です

高齢者の方へ

ワクチンを自分と仲間のために打とう！

基礎疾患のある方へ

ワクチンを自分のために打とう！

その他の方へ

ワクチンを周りの人のために打とう！

『地区医師会を中心とした地域の医療関係者、行政、都民、関係団体が一丸となって、ワクチン接種を短期間に徹底的に推進する』

そのための、10項目を以下に示す。

- ① 医療従事者等へのワクチン接種を引き続き徹底
- ② 重症化リスクの高い都内311万人の高齢者に対して、7月末を目途に2回のワクチン接種完了をめざす
- ③ 集団・個別接種を併用するなど、まずは高齢者接種を進め、また巡回診療等も検討しながら、移動の難しい高齢者や在宅療養者への徹底接種を地域ごとに計画
- ④ 6月4日時点で地区医師会取り纏めの接種施設は5,299施設で、当会所属の医療機関(約10,100)の約52%にあたる。今後も“かかりつけ医”として、本ワクチン接種事業に可能な限り多くの会員医療機関が参加(V-SYSによる登録等)できるように推進
- ⑤ 個別接種を行う際は、ワクチン専用の時間(ワクチンタイム)設定が有効
- ⑥ 7月末までは、例年の健(検)診等を8月以降に延期するなど、通常診療の一部を多少制限し、2ヶ月余りのワクチン接種期間に特別体制で当たるなどの検討
- ⑦ 8月以降は、集団接種等をより効率的・広域的に拡充し、高齢者以外の対象者への接種を推進する。この時期からは、地域医療へのワクチン接種の負担軽減を図り、医療体制を通常体制に復帰
- ⑧ 企業などの産業医療の現場では、産業医を中心として、地域の医療体制(地区医師会等)と密接な連携のもと、ワクチン接種を推進
- ⑨ 地区行政には、効率的で分かりやすい予約方法の提供、現場のニーズに対応できるワクチンの分配・配送、住民へのきめ細やかな情報提供と不安解消(全国民分のワクチンは確保済み等)、等を要請
- ⑩ 関係機関には、種々の場面において、医療関係者と密接な連携・協力を行うよう依頼